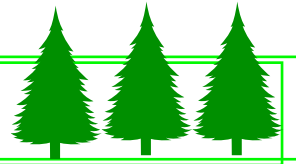


みつぎ便り



第216号 9月号 令和6年9月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



ノウゼンカズラ

朱色がかった濃いオレンジ色の花が素敵なノウゼンカズラ。暑い季節に目を惹く華やかな色合いです。見次公園ではバス通り沿いの歩道から見ることが出来ます。カズラという名の通りつる性の植物で、他の樹木や壁などに付着しつるを伸ばします。

ノウゼンカズラの英名はtrumpet vineで、名前のように楽器のトランペットにも似ていて、管の先に丸い花びらがついたような可愛らしい形です。一日花ですぐに花が落ちてし

まいますが、次々ときれいに咲かせていきます。花からは蜜が豊富に分泌されるので鳥や蝶、蟻なども集まります。ノウゼンカズラは中国原産ですが、平安時代の書物にもその名がすで見られます。

今年のNHK大河ドラマ「光る君へ」は平安時代が舞台ですが、千年ほど前の方々もこの花を眺めていたかと思うと感慨深いですね。「千年後も素敵に咲いていますよ」とお伝えしたくなります。(朋)

ブラスコ

ポンプ小屋近くの花壇に咲いています。花はコスモスのような姿をしていて姫秋桜ヒメコスモスとも呼ばれます。白やピンクや青など色も多くガーデンニングで人気の花です。原産国はオーストラリア、ニュージーランドのようです。

公園の花壇は年二回花を植え替えています。板橋区から苗を提供してもらい、この六月にも一新しました。マリーゴールド、ペチュニアなど植えました。一部には仲間が育てたハウセンカも植えました。紅白



の花が今咲いています。ブラスコは私達で植えた花です。

少し見次公園の様子を書いてみます。面積は一万四千㎡で、池があり湧水が出ており、ヘラブナ、コイなどの魚がいて竿を手にした釣り人が並んでいます。池にはカルガモなどの鳥類、トンボなどの昆虫類も多いです。週末にはボートも貸し出され子供達の人気になっています。

今は八月の終わりですが、喧しいほど蝉の声が聞こえます。蝉の思い出ですが公園で蝉の脱皮を観察した事があります。夜間、数時間ばかり見たのですが、神秘的な世界でした。(重)